

# WORK ZEAST ST3

☎ ワーク ☎06-6746-2859 <https://www.work-wheels.co.jp>

8.0Jx20	¥84,000	¥89,000	¥99,000
8.5Jx20	¥85,000	¥90,000	¥100,000
9.0Jx20	¥86,000	¥91,000	¥101,000
9.5Jx20	¥87,000	¥92,000	¥102,000
10.0Jx20	¥88,000	¥93,000	¥103,000
10.5Jx20	¥89,000	¥94,000	¥104,000
11.0Jx20	¥90,000	¥95,000	¥105,000
11.5Jx20	¥91,000	¥96,000	¥106,000

※価格はタイヤのオプション（タイヤ・ホイール・ブレーキ）を別々に見積り、オプションの装着は別途見積りにかかります。  
※インターネット上での見積りとは異なる場合があります。  
※カスタムカラーオプションは別途見積りにかかります。セラーターカラー、特価P.C.D.、8カラミスターカラー、リムレーザー対応。

このGRスープラは埼玉自動車学校の教習車で、HKSハイパーマックスツアリングで車高を20mmほどダウン、タイヤはアドレンスポーツで、エンジンのブレーキパッドを装着している。埼玉自動車学校はこの車場の他に3台のGRスープラと、4台のGT-Rをすべて新車で教習用に購入したといわれています。

ステップリムを超えるツインスポークは  
カスタムでさらなる個性を發揮する!!



1 種類あり、インセットも1mm刻みでオーダーが可能。ディスク面のカラーバリエーションや仕上げも豊富なため、染したときのイメージを描ける人なら、かなり細かい部分まで自分好みのカラーに仕上げられるのだ。

2 ツインスポークを斜めに絞るような形状にしたのは、ジーストシリーズ初。サイズはフロント9.5Jx20+25(ミドルコンクイムディスク)、リヤが10.5Jx20+32(ディープコンクイムディスク)だ。

3 2ピース構造でステップリムを上げた上に、スポークを配置する構造がジーストの特徴。このGT3のデザインに合うまで1年以上もかかったと言ふ。

4 外周を互い上げたデザインのセンターキャップはジーストシリーズの専用品。こうした細かな配慮が、新たなモデルを生み出すときに「ソースらしさ」を表現している。

5 リヤにはディープコンクイム仕様を装着。ディスクは裏面に天面を切削加工し、その上からグレーのクリアコートで塗装したコンクイムディープコンクイムボディがメタリックのグッドに映えるカラー。

種類あり、インセットも1mm刻みでオーダーが可能。ディスク面のカラーバリエーションや仕上げも豊富なため、染したときのイメージを描ける人なら、かなり細かい部分まで自分好みのカラーに仕上げられるのだ。

写真で見ているT3はあくまでもベリッシュカラーのトランスレポリッシュ。ここから自分流にカスタマイズが可能。カスタマイズメニューはHPで詳しく紹介されているので、ホイールでこの個性を追求したい人は速攻でチェックだ。

国産ハイエンドカーをターゲットにラジエーターコアやエンジン冷却システムを出せるが、サイズをコンパクトにするのがジースト。そこで、ライオンアブッティングのS1とS2に続き、待望の第3弾モデル「S1T3」が登場した。

ジーストはS1もS2もヒット作で、未だに売れ続けているモデル。そのシリーズ最新作として、デザインは練り込まれ、企画開発から1年以上を要し、検討した案から15種類以上に及んだと言ふ。

「本格的にはヒースホイールで、スポークがステップリムを乗り越える。ジーストシリーズならではの特徴を継承しながら、新しいデザインとなる。ひねりをデザインに加えます。」と、ワークの広報を担当する吉川さん。S1T3とS2は、ストリート状のスポークがステップリムを乗り越えることを個性としているが、この特徴を受け継ぎつつ最新トレンドを取り入れたワケだ。

また、シングルスポークだったS1T2とS2に対して、S1T3はワイクが得意とするツインスポークを採用してきたのである。

さらに、吉川さんにS1T3の魅力を聞くと、「ヒースならではのカスタム性能を利用して、自分のクルマにあった履きこなしをして欲しい」とのこと。

コンクイムの違うディスクが3